



〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.kasukabe-saintnoah.jp



～目次～

- 病院短信 『人生の一滴』 船津 栄
- 患者さんの日常エピソード 加藤 千亜希
- いきいき看護・介護 小西 由美子
- PSWだより 渡邊 正基
- お花見会 院庭にて
- スタッフ紹介 八重尾 友香

5月の予定

◇誕生日会&母の日

1病棟	5月11日(火)
2病棟	5月11日(火)
3病棟	5月12日(水)
各病棟デイルーム 14:00～	



お花見会

桜とシャボン玉(*'▽')

甘味処でおしるこをいただきました(*'ω')

桜の下、病棟対抗三二運動会、風船大玉転がしは大変盛り上がりしました(*^*)

桜散策を楽しみました(*^*)



観葉植物とさら

スタッフ紹介



1病棟 看護師
やえお ゆか
八重尾 友香
星座：さそり座
血液型：B 型
趣味：マラソン

認知症専門病院は初めてなので戸惑う事もありましたが、スタッフの皆さんの親切な指導のおかげで、続ける事ができました。これからもよろしくお願いたします。



『人生の一滴』

「その人らしさに寄り添う」事は当院の理念ですが、実は最近、「その人らしさ」に触れ、心潤うエピソードがありましたのでご紹介したいと思います。

ある時、ある女性患者さんの精神療法に立ち会いました。患者さんはもう90歳を過ぎていましたが凛とされており、会話もスムーズでした。先生が生活歴から「へえ、俳句をやっていたらいいですね？」と聞くと、表情がぱっと明るくなり「はい、賞もけっこう頂きました。」と。「良かったらその句を教えてくださいませんか？」



「はい、大玉小玉…」それから「しばらく考えた後に「もう忘れちゃいました。」と笑顔で答えていらつしやいました。「これから桜も咲きます。良かったらまた句を作って、今度教えてくださいですね。」と先生が言うと、「はい、わかりました。」といつもの穏やかさの中に、生き生きとした積極性が見えました。

また、ある日のデイルーム。昼食後、患者さんがベッドに戻ったり、トイレ誘導等で閑散としている中、私がデイルームのテーブルで雑務をしていると、ある男性患者さんに「ここ座っていいか？」と聞かれました。「どうぞ」と答えると「どうだ、タカシとは上手くやっているのか？」と聞かれました。私は「？」なのですが、多分、患者さんの中では私は「タカシ」さんという方と結婚かお付き合いしていることになっているのかな…と思いい、つい私的な事実を交えて「もう離婚しちゃったよ」と答えました。すると患者さんは「何だよ、何やってんだよ。俺が1回、話してやろうか？ダメじゃないか！そうだ、家を建てたらどうだ？田んぼの1枚2枚、売ったってどうってことないから。俺が何とかしてやるから。」その言葉にびっくりもしました。「わあ私、心配してもらっているんだ！」と思つたら気持ちがほぐれて思わず涙が出そうになりました。「わかった。もう1回、話してみるよ。」と答えたなら満足そうでした。いつもは私の事を「お兄ちゃん、お兄ちゃん。」と呼び「女性です！」というところか、そりゃあ悪かったな。」と笑ったり、「お茶くれ」「珈琲くれ」と訴えが多く困つてしまう患者さんなのですが、まさか、こんなに頼りになる一面があるなんて…。



思わぬ人生の一滴を頂き、心がほっこりした出来事でした。

患者さんの日常エピソード



つぎお
今月は2病棟の次男さんを紹介します。茨城県出身で高校卒業後、姉を頼って上京、仕事で静岡や金沢に転勤されたそうです。22歳の時、社内結婚され、草加市に居を構え、2人のお子さんに恵まれました。退職後は魚釣りをされたり、奥さまと勤務地だった静岡や金沢などを旅行されたそうです。入院されて5年目を迎えます。ご家族だけでなく、弟さんも良くご面会に来てくださいます。弟さんは「兄には本当に世話になった。元気な顔を見ると私も嬉しくなります」と話されます。娘さんも「ここに来れば穏やかな表情の父に会えます。家にいる時は、このままでは両親とも倒れてしまうかもと案じたり、また入院は早いかな、と迷ったりもしましたが、ここが本人にとって居心地が良いのだなと感じ安心しています。スタッフの皆さんのおかげです」と。その隣で奥さまもうなずかれていらつしやいます。

— では病棟の様子をご紹介します。

次男さんは、よく病棟の窓から見える景色を指して「あの山が筑波山だよ。茨城生まれの私は富士山よりも自慢だよ。日本にはすばらしい景色が沢山あるね」と教えてくださいます。私は次男さんの担当になって1年ちょっとですが、いつも穏やかで、声をかけると笑顔が返ってきます。一度も怒った顔を見たことがありません。

4月のお誕生日会では、マイクを握って、とても素晴らしい挨拶をされました。82歳を迎えられましたが、姿勢も良く年齢よりもうんと若く見えます。言葉遣いも丁寧で、食後の食器の片付けを手伝ってくださいます。又、カラオケが大好きで「北国の春」はおはこです。健康で若くいられる秘訣を伺うと「毎日ラジオ体操をして身体を動かしていること。若い時は柔道をやっていたんだよ」と話してくださいます。

この次の散歩の時にも、また、楽しい話を聞いてみようと思っています。

いつまでも元気で笑顔の似合う次男さんでいてください。 2病棟 介護福祉士 加藤 千亜希

PSW だより

精神保健福祉士 (PSW) 渡邊 正基



先日、当院の中庭でお花見会が開催されました。天候にも恵まれ、患者さんに満開の桜を眺めてもらえたことを嬉しく思います。私たちもそうであるように、患者さんにとっても桜を眺めるというのは特別なことです。普段、お散歩にお誘いしても渋るような人でも、桜を見に行きましょうと誘えば重い腰を上げてくれるので不思議なものです。

今年は開花が早かったようにあつという間に桜が散ってしまいましたが、葉桜を眺めながらのお散歩も良いものです。これから更に暖かくなり、外に出るには良い季節になります。

来年の桜を楽しみに患者さんとお散歩が出来ればと思います。

また、面会が再開されましたら、ご家族の皆さまも来院の際はぜひ患者さんとの散歩を楽しんでいただければと思います。



いきいき 看護・介護

3病棟 介護福祉士

小西 由美子

- 1、ゆっくりとした口調と笑顔で話しかける
 - 2、何のために話しているのか伝える
 - 3、相手が何を不安に思っているのか聞き、不安な気持ちに寄り添う
 - 4、安心感を与えるために手を握る、さするなどのスキンシップを取り入れる
- 安心感を与えられる様な声かけを心がけて接していきたいと思えます。

